

■本多正信 武将，大名。参謀として家康の天下取りを実現，自らは禄を望まず，幕府創立に貢献。

ほんだまさのぶ

銀輪始・・1538＝ 祖父の代からの松平氏の家臣であった本多俊正の子に生まれ，

鉄砲伝来・・1543＝ 5歳：

勘合船終・・1547＝ 9歳：

ザビエル来日1549＝11歳： 幼くして4つ年下の家康に仕えてお互いに気心の知り合う友人となったが，

・・・・・1556＝18歳：

桶狭間の戦・1560＝22歳： 家が代々熱心な一向宗の信徒であったため，

大村純忠受洗1563＝25歳： 三河一向一揆に参加して家康に背き，大坂に逃れて松永久秀の食客となるなどした後，
川中島の戦終1564＝26歳： 以降，加賀に住んで<加賀一向一揆>のリーダーとなって活躍する。
将軍義輝自刃1565＝27歳：

織田信長入京1568＝30歳：

石山合戦始・1570＝32歳： 姉川の戦に参加。

室町幕府滅亡1573＝35歳：
長島一揆鎮圧1574＝36歳：

石山合戦終・1580＝42歳： 織田信長の討伐で勢いが衰えたため，
本能寺の変・1582＝44歳： 各地を流浪するうち，それを知った旧知の久保忠世が家康に詫言を入れてとりなしてくれ，
帰参すると，直後に<本能寺の変>で織田信長が殺害された際，上方見物中で動揺した家康が本多忠勝の進言で伊賀越えして帰国するのに従い，信長没後のドサクサに紛れて，全く武力を用いずに甲斐一国を家康の掌中とさせて，一気に信頼を獲得，続いて，豊臣秀吉が勢力を伸張させて行くと，信長の遺児・信雄を擁して対抗，武田信玄の考案した“武田軍法”を自らのものにし，

賤ヶ岳の戦・1583＝45歳：
長久手の戦・1584＝46歳： *<長久手の戦>で秀吉軍を破って心胆を寒からしめ，秀吉が娘を人質に提供し，母を家康のもとに派遣する程，下手に出て来たところで和睦した。以後，家康との緊密な関係と権謀術数を磨いて，酒井忠次に替わって参謀となり，自らの生涯を家康の天下取りに賭けるようになり，

秀吉太政大臣1586＝48歳： 従五位下佐渡守。
秀吉全国統一1590＝52歳： <小田原征伐>で北条氏を滅亡させて秀吉の<全国統一>を実現し，その論功行賞で駿河・遠江・三河・甲斐・信濃に代わって関東八州を与えられた際にも，その領国の将来性を見とおして，<関東移封>と当時みすばらしかった江戸居城を決断させる一方，自らは上野で一万石の大名で満足し，以後，次々と加増の話があっても遠慮して，家来たちの信望も獲得した。

文禄の役・・1592＝54歳： 以後，領国の検地や江戸の城下町整備にも尽力する一方，秀吉の朝鮮征伐に対して現地派遣とならぬように心を砕くうち，

豊臣秀吉没・1598＝60歳： 秀吉が死去すると，その死を外部に隠して朝鮮からの撤兵を無事に済ませるとともに，多くの武将を味方に引き込み，石田三成を追い込んで，

関ヶ原の戦・1600＝62歳： <関ヶ原の戦>へ立ち上がらせ，自らは家康の子・秀忠のお目付役として美濃の本戦には参加しなかったものの，ついに，家康に天下を取らせるに至り，

朱印船制始・1601＝63歳： 関東総奉行兼町奉行に任じられ，
阿国歌舞伎始1603＝65歳： *家康が征夷大將軍となって覇権が確立すると，後の大老に相当する位置で徳川幕府創立に貢献する。

徳川家康隠居1605＝67歳： さらに將軍職を徳川家が世襲することを内外に知らしめるべく，
家康を駿府に引退させ，子の秀忠に將軍を継がせてその側近となり，家康の側近を務める自らの子・正純と連携して，実質的に秀忠を指導，

家康駿府退隠1607＝69歳： 文治時代に不要となる武功派の反動の芽を摘取るべく，共に家康を支えてきた久保忠隣の失脚を図り，

島津琉球支配1609＝71歳： <岡本大八事件>，
琉球使始・・1610＝72歳：

支倉常長渡欧1613＝75歳： <久保安事件>を画策して，
大坂冬の陣・1614＝76歳： ついに改易せしめる。豊臣一族の力を根絶すべく<方広寺鐘銘事件>起こさせ，大坂の冬の陣，
大坂夏の陣・1615＝77歳： 夏の陣にも秀忠に従って参戦。反動の危機を乗り越えて徳川幕府が確立したのを見届けて，
徳川家康没・1616＝78歳： *家康のあとを追うように，江戸で没した。